

体育功労賞受賞



中村 久氏

神戸市サッカー協会綱紀委員長・中村久氏は8月21日、兵庫県体育協会より50年度体育功労賞を受賞された。同氏の長年にわたる功績が広く認められたものである。

高倉中優勝

一市総体一

50年度神戸市中学総体は、高倉中が2年連続の優勝で飾った。

決勝戦は7月26日、魚崎中との間で行われた。前半8分、高倉は左ウィングの2年生山名が、スルーパスを受けてゴール右すみに決め先行。これに対し、準決勝で上野を破り意気あがる魚崎はよく動き、後半すぐに同点とした。その後も両チームは中学生らしいきびきびしたプレーをみせたが、高倉・川畑のロングシュートが決まり、魚崎を振り切った。

高倉は学校が創立されてわずか4年目であるが、大和川監督のもと洗練されたサッカーをやっている。今年は大柄な選手でチームをつくり、一人ひとりの個人技が高いうえに、オープンスペースに走り込んだり、スルーパスが出せる戦術眼もあり、これからの活躍が楽しみである。続いて8月7、8日和田山中で行われた県総体では、1回戦で大庄北(阪神)と対戦した。雨中の試合、立ち上がりから激しい攻防が展開されたが、後半6分に与えたPKが決勝点となり涙をのんだ。



少年指導者講習会開く

神戸市協会

神戸市協会は7月、昨年に引き続き第2回少年指導者講習会を開いた。

少年チームを指導している人やレベルアップが目的の社会人ら30余名が毎週火曜日、御影工高に集合した。仕事を終えてからの受講はかなりきびしいが、講義および実技に真剣な態度をみせていた。

講師は市協会理事長の一北四郎氏と神戸FCの黒田和生氏の二人。



ナイター設備完成

磯上球技場

8月1日磯上グラウンドのナイター設備記念式典が行われた。ラグビー協会による高校と社会人チームとの試合があったあと、宮崎神戸市長のメッセージが読み上げられた。「働く青少年にスポーツの場を、という願いがかなって、全国にもあまり例をみないこの設備を完成させました。これからは昼も夜もこの設備を十分に利用され、市民スポーツの発展に役立ててほしい……」。

そして市の代表、KR&AC、サッカー協会会長ならびにラグビー協会長の四氏によって、4基の照明塔に灯がともされた。点灯後、市協会加盟のチームの代表で紅白試合が行われた。(ミ)

磯上グラウンド利用法
申し込み先…神戸市役所みどりの窓口
毎月1日 抽選
使用料…(1時間につき)
照明料: 3,000円
グラウンド: 300円

なお、入り口が従来の西門から南門に変更されましたので、磯上グラウンドの入退場は必ず南門を利用くださるよう、ご協力をお願いします。
また、場内は駐車禁止となりました。

あなたも名シューターになれる

一シュート場面のフィルム貸します一

神戸市協会では「イメージネーション・サッカー・シュート編」(日本協会編集)のフィルムをお貸ししています。サッカーの中で最も大切なシュートが、ノーマルスピードとスローモーションを駆使して編集されており、ぜひご利用ください。

◎内 容

- ペレのシュート
- 釜本のシュート
- ウベゼラーのシュート

◎使用料(原則として1週間につき)

16ミリ版 500円
8ミリ版 300円
8ミリ映写機 700円
保証金(返却時に返金) 5,000円
ただし、神戸市協会に加盟していない個人、チームに対しては、上記料金の3倍とします。

◎お問い合わせ

一北四郎
北区有野台7丁目16-6(自宅)電話 078-981-5867

上野中2回戦で敗退

—全国中学スポーツ大会—

50年度全国中学スポーツ大会サッカー競技は8月埼玉県大宮市で行われ、兵庫県代表として出場した上野中学は、1回戦で陵陽中に楽勝したが2回で牛津中に惜敗した。

- 1回戦
上野3 (1-0) 1 陵陽 (北海道)
- 2回戦
上野1 (0-1) 2 牛津 (佐賀)

棄権試合をなくそう

神戸市社会人リーグの2チームが棄権試合を行った。

- 2部 星陵クラブ 8月3日
3部 ダックス117 8月3日



中央球技場だより

9月6日(土) ヤンマー対関西学生選抜 18:30 有 料
兵庫朝鮮対神戸市社会人選抜 17:00
9月7日(日) 関西社会人リーグ戦 2試合 12:30~
9月20日(土) 関西学生リーグ戦 2試合 13:00~
9月21日(日) レクリエーションリーグ決勝 3試合 10時より
神戸市協会
9月24日(祝) 関西社会人リーグ戦 2試合 12:30~
9月28日(日) 関西学生リーグ戦 2試合 13:00~

8月1日より場内の駐車が有料になりました

3時間まで 300円
3時間以上 500円

芝を大切にしましょう

第30回 国民体育大会関西予選

教員の部(代表2チーム)

京都 2
奈良 1
兵庫 1
和歌山 2
大阪 6
滋賀 1

一般の部(代表2チーム)

滋賀 3
兵庫 7
奈良 0
大阪 2
京都 2
和歌山 0

高校の部

国体出場県
兵庫
和歌山
大阪
京都
あと一県



神戸のサッカー

9月号

発行所
神戸市サッカー協会
神戸市灘区上野通6丁目3-12
TEL (078) 861-3838
発行人 加藤正信
編集人 辻 豊
購読料 1部 20円
毎月1回10日発行

一第5回 ジュニア・サッカー・サマー・フェスティバル一

ことしも静岡県勢強し

好プレー、光る金沢大徳(IV部)チーム

去る8月23・24・25(前期)29・30・31(後期)御崎サッカー場で開催。ことしも清水を中心にした静岡県勢が圧倒的な強さを見せた。成績別記の通り。



(前期) I部(中3)

	清水A	静岡城内	枚方A	神戸A	勝点	得点	失点	得失差	順位
清水A		3-3	3-0	3-2	5	9	5	4	1
静岡城内	3-3		3-2	3-0	5	9	5	4	1
枚方A	0-3	2-3		5-0	2				3
神戸A	2-3	0-3	0-5		0				4

(前期) II部(中2) Aグループ

	清水B	広島大河	枚方B	熊本B	勝点	得点	失点	得失差	順位
清水B		3-1	5-4	3-0	6				1
広島大河	1-3		0-0	4-0	3	5	3	2	2
枚方B	4-5	0-0		3-1	3	7	6	1	3
熊本B	0-3	0-4	1-3		0				4

(前期) II部(中2) Bグループ

	藤枝中	松 山	刈谷A	神戸B	勝点	得点	失点	得失差	順位
藤枝中		4-0	3-0	2-0	6				1
松 山	0-4		2-1	2-2	3				2
刈谷A	0-2	1-2		3-2	2				3
神戸B	0-2	2-2	2-3		1				4

II部順位決定戦

- Aグループ Bグループ 順位
- (1位) 清水B 2-0 藤枝中(1位) ①清水B ②藤枝中
(2位) 広島大河 5-1 松 山(2位) ③広島大河 ④松 山
(3位) 枚方B 2-2 刈谷A(3位) ⑤枚方B ⑥刈谷A
(4位) 熊本A 0-1 神戸B(4位) ⑦神戸B ⑧熊本A

(前期) III部(中1)

	清水C	神戸C	香川A	刈谷B	勝点	得点	失点	得失差	順位
清水C		3-1	5-0	5-0	6				1
神戸C	1-3		3-1	2-0	4				2
香川A	0-5	1-3		7-3	2				3
刈谷B	0-5	0-2	3-7		0				4

(前期) V部(小5) Aグループ

	藤枝A	浜 松	神戸E	香川C	勝点	得点	失点	得失差	順位
藤枝A		2-1	3-0	12-0	6				1
浜 松	0-2		1-1	4-0	3	5	3	2	2
神戸E	0-3	1-1		3-0	3	4	4	0	3
香川C	0-12	0-4	0-3		0				4

(前期) V部(小5) Bグループ

	清水E	若松B	四日市B	刈谷D	勝点	得点	失点	得失差	順位
清水E		2-1	2-0	3-0	6				1
若松B	2-1		1-0	3-1	4				2
四日市B	0-2	0-1		1-0	2				3
刈谷D	0-3	1-3	0-1		0				4

V部順位決定戦

- Aグループ Bグループ 順位
- (1位) 藤枝A 2-3 清水E(1位) ①清水E ②藤枝A
(2位) 浜 松 1-1 若松B(2位) ③浜 松 ④若松B
(3位) 神戸E 1-1 四日市B(3位) ⑤神戸E ⑥四日市B
(4位) 香川C 1-2 刈谷D(4位) ⑦刈谷D ⑧香川C

(前期) VI部(小4)

	藤枝B	清水F	神戸F	若松C	勝点	得点	失点	得失差	順位
藤枝B		2-2	6-0	5-0	5	13	2	11	1
清水F	2-2		2-0	8-0	5	12	2	10	2
神戸F	0-6	0-2		1-1	1	1	9	-8	3
若松C	0-5	0-8	1-1		1	1	14	-13	4

(後期) IV部(小六) Aグループ

	香川B	神戸D・A	津 山	名古屋	勝点	得点	失点	得失差	順位
香川B		1-0	1-0	4-1	6				1
神戸D・A	0-1		0-0	2-0	3				2
津 山	0-1	0-0		1-1	2				3
名古屋	1-4	0-2	1-1		1				4

(後期) IV部(小六) Bグループ

	藤枝中央	熊本B	四日市A	枚方C	勝点	得点	失点	得失差	順位
藤枝中央		5-1	4-3	3-1	6				1
熊本B	1-5		1-0	2-0	4				2
四日市A	3-4	0-1		2-0	2				3
枚方C	1-3	0-2	0-2		0				4

次ページへ続く

新日鉄広畑 2年連続兵庫チャンピオンに

第2回兵庫カップ

第2回兵庫カップは7月20、26、27日の3日間、神戸中央球場で行われ、新日鉄広畑が昨年に続いて2年連続兵庫チャンピオンとなった。

参加チームは、関西社会人リーグの三菱重工神戸、新日鉄広畑と天皇杯兵庫大会でベスト4に勝ち残った川崎重工神戸、神戸FC、甲南大学、兵庫教員の6チームで、うだるような暑さのためかなりきつく、動きも鋭さに欠けるころがあった。決勝戦は予想どおり三菱と新日鉄が顔を合わせた。

関西リーグ前期を首位で折り返した三菱に対し、新日鉄は雪辱に燃えた。前半9分、三菱はコーナーキックから古賀がヘッドイングシュートを決めたが、新日鉄も反撃に出て前半終了近くに竹内のシュートで追いついた。さらに後半12分、左からのコーナーキックを竹内がニアポストに走り込んで鮮やかなヘッドイングで決めり、三菱は次第に焦りをみせ、得意のオープン攻撃が生かされず一気にゴール前で勝負にでたが、新日鉄は落ち着いて守備を固め守り切った。

なお、関西学院大学は都合で出場を辞退した。



ヘッドイングのせり合い (三菱重工神戸：新日鉄広畑)

神戸市社会人リーグ途中経過

神戸市社会人リーグは4月に開始され、日程の3分の1から半分を消化した。各チームの活躍ぶりを追ってみよう。(成績は8月10日現在のもの)

1部

兵庫教員が勝ち点8で首位を走っている。平均年齢は高いが全員がサッカーをよく知っている。これを追うのが今年度1部へ返り咲いた兵庫朝鮮と神戸FC。1部入りを果たした神大同好会と葦合クラブにとって1部の水はにがく、苦戦が続いている。

2部A

市役所Aは1戦1勝、神戸ライオンが3勝でトップ。この2チームを中心に首位争いが展開しそう。赤塚山OBは二重登録違反のため50年度は出場停止。

2部B

神戸製鋼と神戸スポーツマンを追う三菱重工Bと川重西神戸のがんばりが注目される。三菱重工Bは天皇杯県大会でベスト8へ勝ち進み、すっかり自信をつけている。

3部A

レクリエーションから今年はじめて社会人リーグに加盟したビートルズFCが、いきなり首位におどり出た。3勝0敗。

3部B

大同生命、川重発動本、YMCAあたりがトップグループを形成。

3部C

異色の神戸FCユースが2試合しか消化していないが、実力は高そう。これを追うのは神大OB、是則運輸といったところ。

3部D

混戦状態が続いている。しばらく様子を見よう。

3部E

高いレベルを持ちながら3部に甘んじている双和クラブを中心に首位争いが繰り広げられている。タックラブとアパッチFCがともに勝ち点6。双和は4。

3部F

初参加のダックス117が一步リード。ホワイトソックスとの試合に棄権負けしたので、最後の順位にどう響くか微妙。須磨クラブがロードランナを相手に17対0のスコアを記録した。

運営会議 日程

10月20日(月)
11月20日(木)
12月19日(金)

県社会人中央大会開幕

兵庫県協会
50年度兵庫県社会人中央大会が、9月から10月にかけて県下各地の会場で行われる。

県下各支部の代表28チームが参加し、8ブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの1位のチームが集まりトーナメント方式で戦い、上位3チームが関西社会人トーナメント大会に出場できる資格を得る。

なお、県協会では来年度から県社会人リーグを復活させる予定であるが、その出場8チームをこの大会で決定することになっており、各試合に熱戦が期待できそう。

Aブロック	神戸FC	(神戸市役所A)	1位
Bブロック	グリーンエルフ	(神戸市役所B)	2位
Cブロック	神戸製鋼	(神戸市役所C)	3位
Dブロック	神戸ライオン	(神戸市役所D)	4位
Eブロック	兵庫教員	(神戸市役所E)	5位
Fブロック	川崎重工神戸	(神戸市役所F)	6位
Gブロック	葦合クラブ	(神戸市役所G)	7位
Hブロック	神大同好会	(神戸市役所H)	8位

IV部(小6)Cグループ									
	金沢	刈谷C	若松A	神戸D・B	勝点	得点	失点	得失差	順位
金沢		4-1	3-3	2-0	5				1
刈谷C	1-4		2-0	4-1	4				2
若松A	3-3	0-2		0-0	2				3
神戸D・B	0-2	1-4	0-0		1				4

IV部順位決定戦									
Aグループ					Bグループ				
1位	香川	0-4	藤枝中央		金沢	0-1	清水D		
2位	神戸D・A	0-1	熊本B		刈谷C	0-1	広島		
3位	津山	1-1	四日市A(PK勝)		若松A	1-2	京都		
4位	名古屋	0-1	枚方C		神戸D・B	1-1	滋賀		

IV部(小6)Dグループ									
	清水D	広島	京都	滋賀八幡	勝点	得点	失点	得失差	順位
清水D		1-0	0-1	7-0	4	8	1	7	1
広島	0-1		3-1	4-1	4	7	3	4	2
京都	1-0	1-3		1-1	3				3
滋賀八幡	0-7	1-4	1-1		1				4

IV部順位決定戦									
Aグループ					Bグループ				
1・2位	決定戦	藤枝	0-1	清水D	①	全清水スポーツ少年団			
3・4位	香川	1-2	金沢		②	藤枝中央小学校			
5・6位	熊本	1-3	広島		③	金沢大徳サッカースポーツ少年団			
7・8位	神戸D・A	1-1	刈谷C		④	香川フットボールクラブ			
9・10位	四日市	1-2	京都		⑤	広島サッカークラブ			
11・12位	津山	2-2	若松A		⑥	熊本サッカークラブ			
13・14位	枚方C	2-0	滋賀		⑦	刈谷市サッカースクールスポーツ少年団			
15・16位	神戸D・B	0-1	名古屋		⑧	神戸フットボールクラブJr.D・A			

以下省略

バイヤーFC

ワールドカップ観戦記

一北 四郎

ドイツに到着してから7月3日までは、デュセルドルフとケルン市の中間に位置するレバークーゼンという都市にあるラマダホテルに宿をとりました。

バイヤーFCはこの町のバイヤー化学会社の従業員で構成されているチームです。スタンドの収容人員は約三千。訪れた時はちょうどシーズンオフで、代表チームは練習を休んでいましたが、練習用のグラウンドでは8・12歳ぐらいの少年たちが、明日のベッケンバウアーやゲルトミューラーをめざして楽しそうに、しかし真剣な態度でゲームに熱中していました。年齢別に分けられた各グループには指導者がついており、その暖かいまなざしは少年選手の特長を伸ばす使命感に満ちあふれているようでした。

バイヤーFCはアマチュアのクラブです。代表チームとジュニアチームがあるだけで、公式試合になると仲間の従業員の家族連れで三千人の観客席はいっぱいになり、プロチームのゲームに負けない盛大な応援が繰り広げられると聞いています。入場料は2マルク(約二二〇円)で、その収入は運営費や設備維持費に回されます。

町にはたくさんのレストランやビヤホールが並び、毎晩でかけていったビヤホールのマダムは気のいいおばさんで、ドイツチームが勝った日には大きなジョッキでビールをおごってくれるのです。ドイツの女性、特に中年の女性を見てもまず受ける印象は「たくましさ」です。日本の男性より背が高く、しつかりした骨格とボリーユムには圧倒されますが、同時に気軽に話しかけてみたくなる親しみやすさを感じます。もちろん、まるでファッションブックから抜け出してきたのではないかと思われるほどのスマートな若い女性が、パンタロンとノースリーブで風をなびかせながら……といった姿もよく見受けられますが、30歳を越しているご婦人はきまって太っているようです。それはポテトチップ付きのビールのせいでしょうか。

いやいやどうも、話が横道にそれてしまいました。写真はドイツ代表チームの雄姿が印刷されているコースターです。ビール一杯につき一枚くれるのですが、おばさんのきげんよい日は、顔いっぱいの笑みを浮かべて一度に10枚もくれるのでした。私はおみやげに何十枚も持って帰り、みんなから大変喜ばれました。



「サッカーと私」

——サッカー王国を再建しよう——

加藤 寛



協会ニュースの「サッカーと私」のコーナーに原稿を書いてほしいと頼まれ、自分自身のサッカーについて思いをかえしてみました。そして原稿にも書いてみた。しかし、つまらないものだ。それよりもこのコーナーをお借りして、サッカー王国の再建策について一つの提案をしてみたい。

始めに少し、私の夢について述べておきたい。中学生のころ、私はデットマール・クラマー氏のような立派なプロコーチになりたいと思っていた。そして現在、サッカー専門の職員(コーチが主)になって(その質に多くの問題はありますが、それはこれから先の努力しだいと本人は非常に楽観的な見通しを持っている)、その夢は昔サッカー王国兵庫と呼ばれていたころ活躍された諸先輩方に神戸の試合を見ていただき「うーん、まあ、これぞ神戸のサッカーじゃ」と言っていたことに変わってきた。

さて、日本のサッカーが勝てない原因は何であろうか。こんな大きな問題は日本協会の技術委員会でもなかなか解決しないのに「何をぬかすか」とお考えさうだが、サッカー狂いのたわごとと聞いていただきたい。

日本サッカーの弱点は選手育成方法にあると思う。外国の選手と日本の選手の育成方法についてよく比較する人があるが、その比較する時に環境の違いを無視したとしたり、大きな誤りをおかす。環境の最も大きな違いは、外国の場合、サッカーが子供の遊び(スポーツ)として非常に楽しまれているのに対し、日本では学校教育の中で行われ、サッカーが子供の遊びからある一定のワクの中に閉じ込められたスポーツになっている点にある。この大きな差を無視してその後の育成方法を論じることとはできない。すなわち、外国の選手たちは、点を取るあるいはゴールを守るテクニックを体で自然に身につけているのだ。日本ではこれを教え込もうとする。ここに無理があるような気がする。

また、これは日本人独特のスポーツに対する考え方であるが、スポーツは遊びであるという「なまちょい」「けしからん」という考えから根性論まで出てくる。スポーツをやるからには、なにがなんでも勝たねばならぬという考えを多くの人が持っているのではないだろうか。昨年来日したサッカーの王様ベレも「日本人は小学生は非常にうまい。しかし、おとなになるにしたがって、マラソン選手を養成している」と言ったそうだが、中学生、高校生の試合を見ればうなずける。試合に負ければ、もっと走れノ根性がないなどという批評がまず飛び出す。ほしがりません勝つまではという日本では、特攻隊精神のない者はサッカーがうまくなならないものだ。万人、皆がのどかにサッカーを楽しみながら、じょうずにな

る方法はないのだろうか。レベルの差こそあれ、しょせんサッカーは遊びではないか。

そこで私は、学校、大学、企業といったワクをサッカーから取り除くことを提案したい。具体的にいえば、登録を年齢別に、年齢別の大会を開くことだ。これによって選手育成の長期的な計画もたえられる。この問題は日本協会技術委員会でもすでにかなり話し合われているらしいが、まだ実現しそうにない。しかし、日本協会がやらなくても都道府県協会でもやらせてみるならどうだろうか。

年齢	大会(グループ)	登録
18才以上	シニア	第1種登録
15才以上	ユース	第2種
13才以上	ジュニアA	第3種
11才以上	ジュニアB	
10才以上	ジュニアC	
9才以上	ジュニアD	

これは私の一案だが登録を別図のように18歳以上を1種、15歳以上を2種、9歳以上を3種とし、これまでの小・中・高等学校、大学、社会人といったワクを取り、体力的、技術的に若くても上のグループで十分にやっている者は上のグループに登録する。試合は各グループともリーグ戦で、市協会レベルで行われている社会人やスポーツ少年団リーグのように年間を通して行う。それに年一回トーナメントをやる。シニア以上は現在の天皇杯を、ユースは各都市協会選手チームで県の予選を行い国体時に全国大会へ、ジュニアは都市協会レベルで予選を行い、県の大会まで終る。数年前から小・中学生の全国大会を行っているが、この年齢に勝つことのみに走るこのような大会は弊害の方が多くに思われる。ユース年齢やジュニア年齢の選手たちにはまず必要なのは、自由にプレーさせ、個性を見出しやることだろう。

「ドリブルをし、まわりを見て、判断し、パスする」この基本的なことを小学生から12〜13歳までに覚えるようジョット我慢の子(指導者)ではなくてはならない。

さて、それではこれまで行われている学校体育連盟主催の大会をどうするか。私は、もっと学校生徒全員が参加(教育の機会均等)ができるような企画にするのが本来の姿ではないかと思う。例えば、全校クラブの市内交歓会のようにするとか、合同練習をするとか。方法は他にもあろう。

以上がサッカー狂いのたわごととほんの一部である。私は法人職員という一般社員と立場はあまり変わらない。しかし、神戸市内に住むサッカー専従の職員として皆様のお役に少しでもたれたいと心から願うものである。

かとうひろし
社団法人 神戸フットボールクラブ職員 24歳
神戸市灘区上野通6-3-12